

令和2年度第2回地域包括ケアシステム検討委員会（報告）

日時 令和3年2月18日（木）

13:30～15:30

場所 高梁市役所 3階大会議室1

（進行 森本）

1 開 会

2 あいさつ（加藤委員長）

年度末でまとめになる。コロナウイルスのため大変だったが、少しずつ事業を進めていただいた。次年度に向けてどのように進めていけばいいか協議いただきたい。

3 協議事項（議事進行：加藤委員長）

（1）関連事業の実施状況について

① 元気なからだづくり隊の育成・支援【西川】

吉備CATVのDVD視聴

（元気なからだづくり隊 布瀬いきいきクラブ）

② 住民主体の通いの場【池田】

③ 通所付添サポート事業【大福】

吉備CATVのDVD視聴（あいあいサポート隊）

④ 介護支援専門員研修会【大福】

⑤ 生活支援体制整備事業【横林】

別紙パワーポイント資料のとおり説明。

※質疑

（加藤）生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターのアウトリーチの内容と成果を教えてください。

（横林）地域に出向いてたわいない話の中から地域課題、ニーズを探っている。その課題に対する改善策をいくつか提供し、それを支援していく。時間はかかるので何度も足を運んでいる。

（2）個人ワーク・グループワーク

「高梁市における有償ボランティアのあり方について」

※内容は個人ワークシートのとおり

※おかやまコープの生活支援サービスについて（おかやまコープ・江口）

別紙パンフレットにより説明。

- ・ 利用料金 980円／時間
- ・ 応援者の活動費 650円／時間 + 交通費（実費）
- ・ 利用者はおかやまコープの会員に限らない。
- ・ 応援者はおかやまコープの会員。
- ・ 令和元年度の実績
 - 利用者登録 1196人、応援者登録 445人
 - 利用率は登録者の5～8割
 - 高梁市の利用者 0人（以前は利用があった）
 - 高梁市の応援者 0人（吉備中央町の人で高梁市での活動が可能な人1人）

※個人ワーク・グループワークまとめ（加藤委員長）

ボランティア活動は支え合いになっているか。ボランティアの押し付けになっていないかが大切。困りごとをサポートするものなので、その困りごとを把握することが重要。また、認知症サポーター、通所付添サポーターなど既存のサポーターの有効活用のため洗い出しが必要。みんなが使いやすく、身近なものになればいい。

4 その他

- ・ 高梁市医療・介護市民公開講座について
- ・ 晴れやかネット拡張機能「ケアキャビネット（やまぼうし）」の操作体験会について

5 閉 会（横林職務代理）【5分】

人口が減少している中で専門職だけではできないことがある。住民1人1人の力が必要。建設的な意見を基にいい制度をつくっていきたい。引き続きよろしくお願ひします。